

観光問題

問 観光局説明会の検証と改善策は

答 局組織検討委員会を設置



太田 修 議員

【観光施策について】

問 局説明会の検証と改善に伴う、局長人事、組織の見直しは。

村長 組織検討委員会を設けて、局長・職員、執行体制などを検討し、5月の社員総会にはかります。

問 観光事業費と住民サービスのバランスは。

村長 住民サービスの維持を考え、より効率的・効果的に観光振興に結びつくよう心がけます。

問 局と観光関係者や地区観光協会との一体感ある計画の取り組みは。



休業になった国民保養センター「岳の湯」

事業方針の策定や業務の運営に的確な助言や情報の共有を図り、連携を深めながら事業を進めます。

問 どの合宿誘致を図り、事業を重ね雇用創出に繋がります。岳の湯の利活用は。

村長 入浴部門の修繕費がかさむことから5月連休明けを目的に休業し、募集した意見などを参考に、いこいの杜検討委員会で進めます。

問 耕作放棄地の活用で、観光や食育対策は。

村長 営農支援センターを通じ、耕作放棄地の防止に努めると共に、野菜や花などの作付けを伸ばし、観光や食育につなげます。

【重点施策と】

予算概要について

問 平成23年度重点施策と予算概要、財源確保は。

村長 新たな財源確保は困難であり、公債費の減少による投資的経費や福祉生活関連経費の充実を図ります。

問 予算編成は、生活環境面で村道やごみ集積場、福祉社会面で医療費や予防接種など、経済施策では「そばの里づくり」を進めます。

問 地方滞納整理機構へ委託件数と金額、除外の徴収方法は。

村長 委託は20件で合計約4億円です。除外分は徴収システムの強化を図ります。今後の財政見込みは。

問 今後の財政見込みは。

村長 オリンピック競技施設やインフラ整備などに伴う、公債費負担が平成10年度の15億円から7億円まで減少しました。しかし、村税収入も平成10年度の21億円から14億円台まで減少しており、今後財政規模の縮小を図ります。

【学校教育について】

問 いじめの有無と防止策は。

長教育 メールによるトラブルや上級生からの暴行などがあります。いじめ対策委員会やケース会議、支援会議を開催し、児童の状況把握、保護者への対応と今後の取り組みについて検討しています。

問 遠距離通学児童のバス運行計画は。

長教育 遠距離通学補助事業と比較研究します。

村長 現有観光施設の利活用での誘客と雇用策は。管理担当課を越えて取り組み、実業団・大学な

問

村長